

# ラオス学校支援へ寄付

## 篠山産業高生 学生の国際団体に

県立篠山産業高校の2年生7人が1日、東南アジア・ラオスの学校を支援しようとして文化祭で募った7000円を、大学生でつくる国際協力団体「CHISE(チーズ)」に贈った。

同高では、CHISEのメンバーらと講話や意見交換で交流し、「学校に通えない子がおり、先生の数も足りない」などとラオスの教育環境について学んできた。7人は10月の文化祭で、

「ラオスに学校を」をテーマに現地の地理や教育制度を紹介する紙を展示し、募



寄付金を渡す前川さん(右)と大学生ら(丹波篠山市で)

金活動をした。

同高での贈呈式では、前川結太さん(17)が寄付金が入った封筒をCHISEの川原玲奈さん(21)に手渡し、「ラオスの子どもたちの現状を教えてもらえてよかった」と振り返った。

今年2回にわたってラオスを訪れたという川原さんは「高校生のみなさんの行動を通じ、多くの方がラオスについて理解してくれれば、いただいたお金で文具やスポーツ用品を購入したい」と話した。